

美肌のための 抗糖化

肌を着替えるサイエンス
AGハーブMIX

抗糖化アンチエイジング食品素材

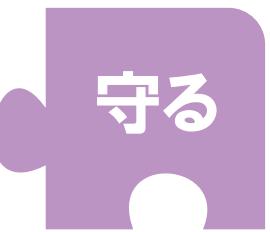
特許第4195840号 メイラード反応阻害剤
特許第4206479号 メイラード反応阻害剤の製造方法

4種類のハーブを独自配合
ドクダミ、セイヨウサンザシ、ローマカミツレ、ブドウ葉
新しい美肌対策：抗糖化による皮膚弾力改善作用

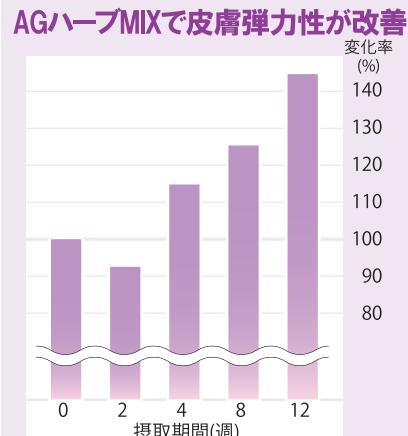
新しいアンチエイジング
「抗糖化ビューティー」を提案します

「糖化」を防げば、「老化」は遅くなる。 老化原因のAGEsから、あなたのコラーゲンを守ります。

これまでのアンチエイジング + コラーゲンを「守る」機能

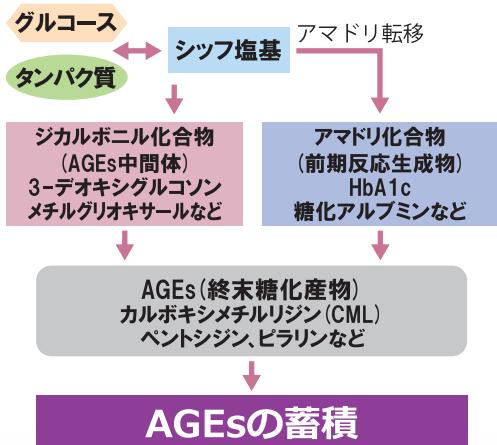


抗糖化



2型糖尿病患者7人に、AGハーブMIXを1日600 mg、12週間とてもらい、皮膚の弾力指数を調べた。その結果4週目から有意な改善が見られた。

糖化反応とAGEs



生体機能不全(皮膚硬化、老化など)

糖とタンパク質が非酵素的に結合する糖化反応(メイラード反応)は最終産物としてAdvanced Glycation End products (AGEs : 終末糖化産物)を生成する【1】。生体中の糖化反応によるAGEsの生成は、糖尿病合併症や老化進展の成因の1つになる【2】。高血糖条件下ではタンパク質のアミノ基とグルコースのアルデヒド基が、非酵素的に結合して可逆的なシップ塩基が形成される。シップ塩基はアマドリ転位によって安定なアマドリ化合物になり、その後脱水、縮合、酸化、転位などの複雑な多数の反応によって3-デオキシグルコゾン(3DG)、メチルグリオキサール(MGO)など反応性の高いジカルボニル化合物を产生する。さらに多数の反応経路を経て、不可逆的な最終産物であるAGEsが生成する。AGEsは単一の物質ではなく、糖化反応による最終生成物の総称で、カルボキシメチルリジン(CML)、ペントシジン、ピラリンなど多数の化合物が同定されている【3,4】。

連続摂取モニター試験

お肌の調子、ハリ、目の疲れが気になり、健康食品に興味のある30代以上の女性を対象に行った連続摂取のモニター試験結果。

- ・有効回答数40名
- ・平均年齢46.1歳
- ・摂取期間:1か月連続摂取

サプリメント内容

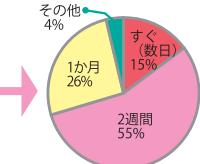
ソフトカプセル:6粒/日
AGハーブMIX:600 mg/6粒
アスタキサンチン:2 mg/6粒

原材料名
AGハーブMIX、サラワード油、ゼラチン、ベマトコカス藻色素(アスタキサンチン)、グリセリン、ミツロウ、グリセリン脂肪酸エステル

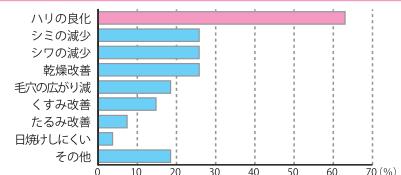
摂取後、肌に変化を感じましたか?



いつ頃、肌の変化を感じましたか?



肌の変化の内容は?(複数回答)



◆製品規格

性状	本品は淡褐色～褐色の粉末で特異なエキス臭を有する
乾燥減量	8% 以下
ヒ素	2 ppm 以下
重金属	20 ppm 以下
一般生菌数	1,000 個/g 以下
真菌数	100 個/g 以下
大腸菌群	陰性
保管方法:	密封状態で、常温保管
荷姿:	1 kg (アルミ袋)

◆摂取目安量

100～600 mg/日

参考文献

- 【1】Louis Camille Maillard. Action des acides aminés sur les sucres: formation des mélanoïdines par voie méthodique. *Compt. Rend. Acad. Sci.* 1912, 154, 66-68.
- 【2】Anthony Cerami et al. Glucose and aging. *Sci. Am.* 1987, 256(5), 90-96.
- 【3】Peter Ulrich et al. Protein glycation, diabetes and aging. *Recent Prog. Horm. Res.* 2001, 56, 1-21.
- 【4】吉川敏一ほか. アンチエイジングと機能性食品 今なぜバイオマーカーか. シーエムシー出版. 2006, 234p.
- 【5】Yonei, Yoshikazu et al. Herbal extracts inhibit Maillard reaction, and reduce chronic diabetic complications risk in streptozotocin-induced diabetic rats. *Anti-Aging Medicine.* 2008, 5(10), 93-98.

◆製品写真



◆組成

- 4種類のハーブの熱水抽出粉末 (本品はデキストリンを含む)
- ・ドクダミ (*Houttuynia cordata*)の地上部
 - ・セイヨウサンザシ (*Crataegus laevigata*)の果実
 - ・ローマカミツレ (*Chamaemelum nobile*)の頭状花
 - ・ブドウ (*Vitis vinifera*) の葉

◆用途

エイジングケア、抗糖化、美肌

◆使用例

サプリメント、健康食品など

◆表示例

混合ハーブエキス (マルトデキストリン、ドクダミ、セイヨウサンザシ、ローマカミツレ、ブドウ葉)

お問い合わせ先

アークリイグループ からだサポート研究所

〒602-0008 京都市上京区岩栖院町59 摠翠園内

機能性食品素材の詳細情報はこちら

TEL:050-5830-1040 FAX:075-431-1253

URL:<https://ebn2.arkray.co.jp/>